

教育委員会議事録

平成28年6月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(平成28年6月定例会)

- 1 日 付 平成28年6月24日(金)
- 2 場 所 海老名市役所401会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 平井 照江
教育委員 岡部 二九雄 教育委員 海野 恵子
教育委員 松樹 俊弘
- 4 出席職員 教育部長 岡田 尚子 教育部次長 金指 太一郎
参事兼教育支援 小宮 洋子 教育総務課長 吉川 浩
課長
就学支援課長 奥泉 憲 学び支援課長 小林 誠
教育支援課教育支援担 山川 勇 教育総務課主幹 仲戸川 元和
当課長兼教育支援セン
ター所長
学び支援課学び 西海 幸弘 学び支援課学び
支援係長 支援係副主幹 内山 大輔
- 5 書 記 教育総務課総務 佐藤 哲也 教育総務課主事 魚谷 尚子
係長
- 6 開会時刻 午前10時00分
- 7 付議事件
日程第1 報告第9号 海老名市学校医の辞職及び委嘱について
日程第2 報告第10号 平成28年度海老名市社会教育委員の委嘱について
日程第3 報告第11号 平成28年度夏季休業中の学校業務停止期間の取り扱い
について
日程第4 議案第12号 学校運営協議会を設置する学校の指定について(東柏
ヶ谷小学校)
日程第5 議案第13号 学校運営協議会委員の任命について(東柏ヶ谷小学
校)
- 8 閉会時刻 午前11時14分

○伊藤教育長 本日の出席委員は5名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会6月定例会を開会いたします。

本日は傍聴はおりません。

初めに、議事録署名委員の指名を行います。本定例会の議事録署名委員は、規定により、教育長において、岡部委員、海野委員にそれぞれよろしく願いいたします。

○両委員 はい。

○伊藤教育長 本日の日程については、すでにお配りした議事日程のとおり、報告事項が3件、審議事項が2件の計5件となっておりますので、よろしく願いいたします。

○伊藤教育長 初めに、私から平成28年6月教育長報告ということで、本日の資料をあけていただくと、アジサイの絵が書いてあるもので、1枚クリップ留めのものが入っております。

まず、主な事業報告として、前回の5月24日の定例教育委員会からずっと入っております。

24日、25日、26日、ずっと総会とか、教育方法改善研修会等いろいろな研修とか、教育支援センター運営協議会などが年度初めということで続いております。

27日は教育委員の皆さんと一緒に八王子で研修会に出席をしてみました。

28日、小学校（7校）運動会が行われました。組み立て体操については5校で行われました。

その後、海野委員が出演されていまして文化団体連合会春季文化祭がありました。

6月に入ってすぐ議会が始まりまして、一般質問のヒアリング等がありました。その間も愛知県碧南市の図書館の視察があったりして、図書館についてはそういう視察等も続いておりますし、図書館のさまざまな問題とは別に、やはり来られた視察の方々の多くが新しい形のいい図書館だし、要するに気持ちよく過ごせるというか、さまざまな要素が新たにちりばめられているということで好評な状況でございます。

4日に海老名いきいきセミナーが入っていますけれども、セミナーは今年度、学び支援課でずっと続いていまして、この日、私が挨拶に行ったのでこの事業報告に入っていますけれども、毎週土曜日に開催されています。今度の日曜日、26日にはテレビ朝日の方が来られて「ニュースの裏側」ということで、文化会館小ホールで定員の200名を超えて、今、二百数名の応募があるということで、講演会があるところでございます。

奨学生選考委員会があつて、その後に皆さんに教育委員会臨時会を開いていただいて、奨学生を選考したところでございます。

玉川大学教職大学院教育実習説明は大学で教職員大学院を持っていて、もう既に免許を持っている方が教職大学院に行くのだけれども、その方々を1カ月ほど海老名の小中学校で実習させてくれないかということなので、今のところ、今年度は東柏ヶ谷小学校と上星小学校でその実習を受け入れる予定です。もう既に免許は持っていますから授業はできますので、1カ月、学校でどんな仕組みなのかということで、行事などにも関わりながら勉強させてほしいということで依頼がありましたので、それは受けているところでございます。

8日は文教社会常任委員会がありまして、教育部は補正予算2件がありまして、屋内運動場のトイレ改修について、国等の補助が確定しました。これについては今年度、補正が通りましたので、この計画でいうと、全19校の屋内運動場、要するに体育館のトイレも改修になります。もう1件は野外教育活動のことで、小中学校における行き先が、予算のときは確定していないのが暑くなって確定して、少し足りなくなったということで補正予算を組みました。ただ、それについては今後見直しを図りたいと考えています。それは委員さん方にも提案して、と考えています。具体的に言うと、中学校だと行き先によってかなり幅があります。それが、例えば保護者からしてみれば、要するに同一の負担ではないのかという見方もできるので、どのようにするかはまた、再度提案したいと思つているところでございます。6月校長会議がありました。

次ページに入って、教育委員会臨時会で奨学生の選考をしていただきました。海老名警察署管内学警連総会等がありました。

10日に社会教育委員会議がありました。社会教育委員会議については皆さんとも深くかわることなので、社会教育委員会議の行われた様子についてはまた、ご報告させていただければと思つておりますので、よろしくお願ひします。

あとは国際ソロプチミスト講演会がありまして、皆さんにも来ていただきました。

14日、15日が一般質問でございました。一般質問についてはまた、別途お知らせしたいと思つております。

17日に定例会が無事に終了したところでございます。

18日は、皆さんにも来ていただいて、PTA指導者研修会と教育委員教育長と語る会を行わせていただきました。

20日は皆さんに来ていただいて、教育課題研究会を行っております。図書館連絡会がありますけれども、図書館指定管理者のほうから、今1つなのは、椅子が足りないということではなくて、学習室がひどいときは朝に150人ぐらい並ぶようです。学習したくてもできないという状況もあるので、どれぐらい増やすかということで今、それを増やす方向で指定管理と調整しています。そのことについて話し合いをしました。だから、今のところ、最大で20席ほど増やせるかもしれないので、どのような形で増やしていくかということが今1つの課題となっているところでございます。

その後は最高経営会議ということで、市の会議に私と教育部長が出席しました。

学校経営の在り方研究会がありまして、そこで教育課程について今検討していますので、私としては各学校が特色ある教育課程を組んでもらいたいということがありますので、それについて今年度研究してみたいと思っています。

特学親の会がありました。毎年3回ほど行われますけれども、多くの支援級の保護者の方が来られて、情報交換をしているところでございます。第1回英語教育推進協議会は後で資料を出します。

本日朝から社家小学校英語デーに行ってきました。この中では教育部長と小宮教育支援課長が行ったのですけれども、門に立って「Good Morning, Hello, Hi!」と挨拶してやると、不思議なことに1年生の子も普通に「Good Morning!」って返してくるのですよ。こちらが「Hi!」と手を挙げるとタッチしたりして、子どもたちって、これだけ対応するのだと思って、中には恥ずかしがる子がいたりもするのですけれども、その子たちは普通に朝の挨拶運動に行っても恥ずかしがって、おはようございますと言うので、それとは関係なく、逆に英語でやったほうが明るく、みんな反応がいいなと感じているのですが、ああ、これはおもしろいなと思ったところでございます。

主な行事については以上でございます。何かありましたらお願いいたします。

○海野委員 5月30日の社家小学校職業講話というのは、内容はどのようなものなのでしょうか。

○伊藤教育長 それは、職業講話で、私が行ってやったら、こんな職業を選ぶ人は普通ではないではないですか。変な話、何をするのかと思うでしょう。でも、これから職業講話で地域の方とか、いろいろな人たちが話に来るから、その最初に動機づけのような感じで私から話してもらえませんかということで、子どもたちと将来の夢とか職業について話しました。そうしたら、最初に手を挙げた子が、何になりたいのと聞いたら、考古学者にな

りたいと言うのですよ。すごいねと思いました。でも、考古学者になるためには何が必要かということで、やはり大学には行く必要があるので、しっかり勉強することが大事だねと話しました。それから、その後に、資格としては、例えば学芸員という資格があったりするととても助かるので、そういう大学を選ぶ必要があるよとか、私としてはいろいろなことを3人ぐらいから聞いて、一応の道筋として、だから、今やることを、次の段階ではこういうステップになるとその夢に続くよということを具体的に話しました。だから、みんなのいろいろな夢とか、これからなりたいものになるためには今から準備して、こういうステップを踏むとそこにたどり着くルートがあるよという話をしました。

○海野委員 いいですね。夢を実現するためにはどういう道筋を歩めばいいかということですね。ありがとうございます。

○伊藤教育長 イチローではないですけども、笑われたけれども、その笑われたことを全て耐えてきたということなので、やはり子どもたちの夢には敬意を払って、きちんと話をして、でも、こういうことが必要だよと教えないといけないかなという感じはします。でも、最初に考古学はすごかった。

○平井委員 では、それに絡めて、ぜひこれからは小学校でもそういう講話というか、キャリア教育も含めてやっていただきたいなと思うのです。他市では結構専門職を呼んで、実践も含めて、そういうことを授業の中に取り入れているとも聞きますので、ぜひ小学校あたりから、1時間でもそういう時間が持てるように、講師を呼ぶにはお金がかかるでしょうけれども、予算等も学校には配分されているでしょうから、そういう中でぜひぜひ、とてもよいことだなと思いますので、他校に広がっていくとよいかなと思います。

○伊藤教育長 ちなみに、中学校は皆さんご存じのように職業講話もあるし、体験にも行くし、進路が目の前に迫っていますから、ある程度キャリア教育があるのですけれども、小学校もキャリア教育ってうちのほうの授業の柱にもなったので、今年は小学校でどんなキャリア教育をやっているか、担当の指導主事が全部調べ上げて、それを並びかえて、小学校でのキャリア教育をどうやるか、それで中学校にどうつなげるかという計画を1つ立ててくださいということで取り組む、そうですね、小宮教育支援課長。

○教育支援課長 はい。計画が少し遅れておりますが、やります。

○伊藤教育長 そのように考えているところでございます。

○平井委員 ぜひお願いしたいと思います。

○松樹委員 私、今の平井委員と全く同感で、今のお話しされていたのはすばらしいなど

思ったのですね。小学生ですと、例えば宇宙飛行士になりたいという夢はあっても、どうすればいいか、そのステップがわからなかったりしますので、その部分は、だったら、先ほど教育長がおっしゃったように考古学者だったら、とりあえず大学でこういう勉強をしないとねという。段階がわからない中で進んで、もうせっぱ詰まったときにああしなければいけなかったと後悔するよりは、長い道筋の中で、だからこそ、今どうすればいいのかというステップがよくわかるようなキャリア教育が今の小学生には求められているとか、大切な話なのではないかなと思っています。それは幾つかあっても私はいいのだと思うのです。それが大人の知恵とか、社会のルール等もありますので、その中でどんどん進めていただきたいなと思います。

○伊藤教育長 ほかには主な事業報告はよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、私から、先ほどの予定にもあって、あえて言わなかったのですが、今年も朝会訪問が始まりました。皆さんのご提案もあって、3年目、3回目になるのですけれども、1年目はえびなっ子しあわせ、勉強をきちんとすることと、集団でいて、自分の仕事をやるのも勉強、係などの委員会の仕事をしっかりやってくださいねということを1年目には話したのですけれども、2年目は、いつも学校に行くと1人、協力してくれると言って、2・3年生の子を1人私のそばに呼んで、その子と対話しながら、この子がなぜ世界で1人だけなのかという説明をするのですよ。私がシミュレーションでその子をいじめるのですよ。少し悪口を言うのですよ。でも、私は世界でたった1人の何とかちゃんに悪口を言ったのだから、そのことはどう思うって考えてもらうのです。そういう意味で、みんなで自分の命も、人の命も大切にねと伝えます。あとは、あなたはたった1つなのに、自転車で飛び出したりしてけがをしたら、家族の人はどう思いますかということ投げかけました。

3年目の今年度は、私、地域とか、学校とか、学級を好きになってほしいという郷土愛とか、それが自分の中であって、今年はその学区の史跡や、遺跡などを説明するのですよ。だから、柏ヶ谷小に行ったときは、あなたたちの斜めすぐ下に海老名で初めての3万年か4万年前の道具が見つかった、石のナイフだよって伝えました。そういう話をしたり、この前、杉本では産川遺跡から7センチか6センチのこんな大きな耳飾りが出たのですよね。それを絵にあらわして、本物を見たかったら温故館に行けば見れるよって言いました。私が出土した耳飾りを持っていきたいと思ったら、係の人がだめだと言ったから、

みんなも温故館に行って見てねという話をしたり、今度は有鹿小学校に行くのですが、私も知らなかったのですが、有鹿小学校自体が遺跡の上だそうです。それが縄文から奈良、平安時代までのずうっと遺跡が積み重なっているところで、本当に住みやすい場所だったようです。

もう1つは坊中遺跡、今、江戸博物館にあるものです。その銅鐸のミニチュアを教育総務課文化財係員が持ってきたので、それを子どもの前で鳴らしてやろうかなと思っています。これがみんなのすぐそばで出てきたのだよ、これもみんなにも鳴らせてあげたいけれども、温故館に行くと自由に鳴らせるよと言って、それで子どもたちも温故館に行ってみたいなって、自分で海老名のことを調べる動機づけにしたいなと思っています。

今それとともに、教頭先生を呼んで、教頭先生に学校の自慢を1つ言ってもらいます。新任の担任を呼んで、その部署には学級の自慢を1つ言ってもらいます。だから、そういうところでみんなにも自分の学校の自慢、自分のクラスの自慢を、まだ何カ月もあるから、その中で見つけてほしいとか、自慢になるものをきちんと探してほしいということで今、そういう講話が行われているところでございます。

それで、よろしければ、伊藤の講話で申しわけないですけども、ぜひ皆さんも、朝会に立たずともよろしいですから、もし皆さんの予定が合えば来ていただいて、一緒に講話をしてもらうなり、聞いてもらうなりしてほしいなと思いますので、ご都合がよければということで講話の予定が置いてあります。よろしくをお願いします。

2点目はよろしいでしょうか。そういうことで今やっていますので。

3点目ですが、来年のことを言うと何が笑うかわからないけれども、そうしたら次は夢のお話です。キャリア教育の話はどここの学校でもやって、もしこうやったらって、それはおもしろいかもしれないですね。次何をやろうかなって、少し悩んでいたのですよ。

○松樹委員 最近の子どもたち、大人になったらどうなるのだとか、不安だったりとか、まさに自分のまちがどうなっているか、かかわり合いだったり知識だったりしますので、今年お話しされているのはすばらしいと感じます。私の家の近くの上星小学校って、ほとんどの子どもが何で上星小学校と言うか、わからないという子どもたちが多いのですね。私もお話をするのですが、そうすると、そういうことだったのなんて、確かにかかわり合いの中での郷土愛なんて書いてありますけれども、そういう心が生まれてくるのではないかなと私は思います。無駄話みたいですけども、教育長がお話しされる場面もしかり、また、学校の先生が子どもたちに何かの授業のときに、ぼつとこうなのだよなんて話

ができるような状況がつかれると一番いいかなと思います。

○伊藤教育長 それでは、3点目に移ります。これは前も話したのですが、今後の海老名市の英語教育についてということで、これから2020年のオリンピックに向けて英語教育を進めてまいりたいと思っているところでございます。前に松樹委員もそうだ、そうだと書いていたけれども、何年間英語を教えていただいてもあまり身につかなかったというのは、要するにコミュニケーションをとるという意味では余り身につかなかったわけです。

ただ今傍聴の希望がございました。傍聴については、教育委員会会議規則第21条に規定されておりますので、傍聴を許可したいと思います。ご異議ございませんか。

○各委員 異議なし。

○伊藤教育長 異議なしと認めます。よって、傍聴を許可します。傍聴人を入室させてください。

(傍聴人入室)

○伊藤教育長 それでは、傍聴人の入室が終わりましたので会議を進めます。

そういう中で、実を言うと、日本がそうこうしているうちに、中国とか、韓国とか、最近では東南アジアがすごく進んだのですよ。その人たちは上手に英語を使って、本当にグローバル社会に対応しているというか、経済発展にもそれがすごい火がついて、ちょうど2020年オリンピックを契機に今、文科省の国策としてそれに取り組む。でも、それに対して海老名市としてはどう取り組んだらいいかなということがありましたので、英語教育推進協議会を設置して、昨日その第1回目がスタートしました。クリップ留め資料が昨日の配付資料全てでございます。こういう会議でやりました。第1回海老名市英語教育推進協議会ということで次第が載っています。次ページをご覧くださいと、小中学校の、たまたま校長が、鷺野校長、飛矢崎校長という昨年教育委員会にいた人たちがなっているので、それはもう何の意図もないのですけれども、あと教頭先生などを、小中学校の教員の代表ということで構成して、県央教育事務所の方がアドバイザーということで、英語担当の指導主事が入っているところでございます。

この後、できればこの1年間でこれから4年間の海老名市の計画を立てるのですけれども、実を言うと、今年度は外国人講師派遣業者のプロポーザルがあります。今はリンク・インタラックという会社で行っていますけれども、それをどのようにするかということで今までは、実を言うと、こういう英語教育をしたいというものがなかったので、外国人英

語講師を入れれば少しは英語になれるだろうという気持ちで入ってもらったので、今度はやはり計画をきちんと立てて、こういう英語教育をしたいのだけれども、これについて提案してくださいという形にしなければいけないかなと思っていますので、それらのこともあって進めているところでございます。文科省は小学校の3・4年生に英語活動がおりてきて、5・6年生は教科で扱うということで、もう今年度中に教科書の見本のようなものが出てくるようですね。もちろん選定はその後になりますけれども、進めていくということで、ちょうどスタートとしては、3年生、4年生が英語活動で、5・6年生が教科で始まるということです。そうなったときに、中学校の英語も今までと違って、そういう子どもたちを受け入れる英語にしなければいけないということがあるので、それらを学校教育の中でどうするかということは今考えております。これらの資料に、これからの英語教育とか、仮の海老名市英語教育実施計画（案）というものが資料の中にあります。今ここで説明する時間はございませんので、目を通していただきたいと思います。

それから、小中学校で教職員の意識調査（案）、先生たちがどう考えているかということとをまず、夏の間全てまとめて、今の先生たちの実態を把握して、その上に立てる。

ただ、イメージとして目指す子どもたちの姿、私は2020年にオリンピックになったときに、子どもたちには、小学校1年生から中3、それぞれ発達段階がありますけれども、外国の方々のご挨拶ができて、できれば私の住んでいる海老名市はこんな市ですよって紹介できるぐらいの英語力は身につけてほしいなと思います。そのために、できれば海老名市版のテキストみたいなものをつくって、私の住んでいる海老名市は昔から歴史が古くて、国分寺というものがありますとか、今は鉄道を何路線か抱えていて、そういう拠点でお店なんかもたくさん賑わっていますとか、でも、南側に行くと水田が広がっていて、緑豊かなまちです、ぜひ来てくださいとか。市長の構想としては、2020年の子どもたちをバスに乗せて、会場にできれば行かせたいという構想を持っているみたいです。だから、そういうときにも、行ったら外国の方がたくさんいるけれども、じっとしているのではなくて、自分から話しかけたり、コミュニケーションをとれる子どもたちをイメージとして持っていくのがいいかなと思っています。そのイメージ、どんな子どもたちになってほしいか、その4年間の計画でどこまで目指すかというのは非常にコアな部分、それがもう中心になるので、それについては少し考えます。このことはこのことで、教育委員の皆さん方も、もし英語教育をするとしたら、そのゴールのイメージとしてどんな子どもたちかというのは、また課題研究会などでも意見を聞きたいなと思っています。それに向けてどんな方法

がいいか、プロポーザルも今年あるので、今までどおりの踏襲という形ではなくて、こんな英語教育というか、これに対して提案してくださいという形をとりたいと思います。資料が余りにも多いので、これはまたご高覧いただいて、今はこういう取り組み、海老名の英語教育の新たな取り組みが始まったということでご紹介させていただきました。

教育長報告については以上ですけれども、英語教育について何かありましたらご意見をいただきたいと思います。

○松樹委員 前にも話をさせていただいたと思うのですが、なかなか中学校3年生まで、高校も英語の授業はありますけれども、英語がペラペラしゃべれるかといえば、そういうわけではありませんし、多少の単語とかはありますけれども、外国の方、外国人の方がいらっしゃるって、英語で話しかけようなんてあまり思わなかったりしますので、先ほど教育長がおっしゃっていた、社家小学校英語デーなんていう取り組みがまたあれば見に行ってみたいですし、単語でもコミュニケーションはもちろんできますので。もちろん既存の英語の授業というのも私も大変大切なものだと思うのですが、とりあえずは単語で、これは何ていうのだろうという興味が子どもたちは湧いたりしますので、どんどん英語を勉強するのが楽しくなってくるというか、これってこうやって英語では言うのだねっていう、体験を通じて身につけていくのが言語だと私は思っていますので、体験型の社家小学校英語デーなんて、すごくおもしろいと思いますし、もしかしてこれは後の話になるかもしれないですけれども、発達段階において家庭の中で協力してもらって、子どもが帰ってきたら、今日の夕飯は何がいいとお母さんが突然英語で話しかけてみるとか。カレーライスって英語なのか、わからないですが、いろいろ考えて、楽しみながらお互いの意思疎通、コミュニケーションができていくというのがいいことなのではないかなと思います。だから、取り組みとして社家小学校英語デーなんていうのはすばらしいと思いますので、ゲーム感覚と言ったら少し語弊がありますけれども、どんどん進めて行っていただきたいなと私は思っています。

○伊藤教育長 英語デーは、今年はあと何回あるのですたっけ。

○教育支援課長 3回です。社家小学校2回で、今泉小学校1回です。

○伊藤教育長 また予定はお知らせいたしますので。

○岡部委員 とてもよいと思うのですけれども、実際に子どもたちにどう教えていくとかどこを目指しているのかとかをじっくり時間をかけてやったほうがよいと思います。資料を見たらその話し合うメンバーが先生ばかりなのですね。もっと海老名の小中学校を卒業

した高校生とか大学生とかの意見を聞くような構成メンバーにできないのかなと思います。ずっとその人が最後まででなくてもよいと思うのです。必要に応じてそういう若い声を入れるとか、英語ぺらぺらなお父さん、お母さんたちもいるでしょうから、そういう企業で働いている人たちの考えをフリーディスカッションの中ではあってもよいかなと思いました。

○伊藤教育長 わかりました。参考にさせていただきます。

○平井委員 資料の中に小学校と中学校の教職員に対する実態調査というのがあります。これがすごく大きいかなと思うのです。今までALTに頼り切っていたところがなきにしもあらずという中で、先生たちはこれから入ってくる英語教育についてどれだけの意識を持っているか。このあたりがすごく大きくて、分析もした中で、今後英語の業者を指定していく中で、どういう部分で今後海老名として方向を持っていくかというところにも大きくかかわってくる部分ではないかなと思うので、ここはぜひ意識調査をまとめていただいて、海老名の教職員の傾向としてこういう傾向であるというようなところ、英語教育にどのようにそこを結びつけていくかというようなところから、今後海老名として何に取り組んだらいいかというところが1つ見えてくるのではないかなと思います。

そういう点で今、岡部委員が言われたように、やはり学校だけではなくて、皆さんの意見を聞きながら、どのようにそこを活用していくか、知見を活用していくかというところにもつながってくるのではないかなと思うので、ぜひこのあたりから手をつけていただけたらいいかなと思います。

○海野委員 私も孫が社家小3年なのですけれども、2年生からそういうALTの方が入っていていただいて、その言葉をすぐ吸収してしまうのですね、2年のときから。下の子が3歳ですけれども、3歳にも伝わって、うちじゅうで会話したり、How are you? とかって会話しているのです。

○伊藤教育長 海野家英語デーですか。

○海野委員 いやいや、家族を巻き込んで、パパ、知っているの、今の言葉、英語知っているのという感じで、みんなに影響を及ぼして、家族で話をしているのです、聞いてくることを。だから、子どもってこんなに早く吸収するのだなと思ったら、1年生からお昼休みに英語の歌を流したりとか、生の発音を耳に聞かせたらどうかなと思ったのですけれども、実際に役立つような英語をお願いしたいなと思います。

○伊藤教育長 わかりました。それでは、このことについてはまた継続して、情報交換し

ていきたいと思っております。

他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、ご質問等もないようですので、これで教育長報告を終わります。

○伊藤教育長 それでは、報告事項に入ります。

初めに、日程第1、報告第9号、海老名市学校医の辞職及び委嘱についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、報告第9号、海老名市学校医の辞職及び委嘱についてでございます。これは、学校医の辞職に伴って、新たに委嘱したため、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

資料の2ページをご覧ください。詳細につきましては、学校医1名が交代となっております。

2 委嘱期間は28年5月1日からでございます。

3 提案理由は、海老名市医師会会長より学校医変更の申し出がありまして、これを認めたものでございます。

4 新旧委嘱者ですけれども、辞職をされたのが下の表です。大山浩吉さん。新たに大山泰弘さんが委嘱を受けております。委嘱期間につきましては平成28年5月1日からでございます。

その変更に伴いまして、5月1日以降の新たな学校医・学校歯科医・学校薬剤師・医療機関名簿というものも添付しております。3ページから5ページに掲載しております。

ご報告は以上でございます。

○伊藤教育長 ただいま説明がありましたけれども、学校医の辞職及び委嘱について、ご意見、ご質問等ありましたらよろしく申し上げます。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご質問等ないようですので、報告第9号を承認することにご異議ございませんか。

○各委員 異議なし。

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、報告第9号を承認させていただきます。

○伊藤教育長 続いて、報告第10号、平成28年度海老名市社会教育委員の委嘱について説明をお願いします。

○教育部長 報告第10号、平成28年度海老名市社会教育委員の委嘱についてでございます。本件は、平成28年度海老名市社会教育委員の委嘱につきまして、任期満了に伴って新たに委嘱をしたため、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

委嘱をした委員の名簿は7ページに掲載をしております。全部で10名でございます。このうち、No. でいうと、2番、3番、4番、8番、9番の5名の方が新任となっております。そのほかの1番、5番、6番、7番、10番の方々は再任となっております。任期は平成28年6月1日から29年5月31日までの1年間でございます。また、第1回の社会教育委員会会議が6月10日実施されまして、ここで委員長、副委員長が選任されました。委員長がNo. 10の山田信江さん、副委員長がNo. 2の浦沢禎之さんとなっております。

報告は以上でございます。

○伊藤教育長 今、社会教育委員の委嘱について説明がありましたけれども、皆さん、ご質問、ご意見がございましたらどうぞ。

先ほど話したように、内容についてはまた、まとめ次第、皆さんにもお知らせしたいというか、教育委員会の場で報告というよりも、法的には向こうのほうから提案とか審議があればここで扱いますけれども、どのような形でやっているか、どんなことを話し合われたかについては、また教育課題研究会とか、そういう場でお話しさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

ご質問、ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご質問等ないようですので、報告第10号を承認することにご異議ございませんか。

○各委員 異議なし。

○伊藤教育長 それでは、ご異議なしと認めます。よって、日程第2、報告第10号を承認いたしたいと思います。

○伊藤教育長 次に、日程第3、報告第11号、平成28年度夏季休業中の学校業務停止期間の取り扱いについてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、報告第11号、平成28年度夏季休業中の学校業務停止期間の取り扱いについてでございます。こちらの報告は、平成28年度夏季休業中の学校業務停止期間の取り扱いにつきまして、教職員の日常業務の多忙化の緩和と夏季休業中の休暇取得促進の環境づくりのために、このような取り扱いとしたいということでございます。これを海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第4条の規定により、報告をするものでございます。

内容につきましては資料の9ページに記載をしております。担当者から説明をいたします。

○就学支援課長 平成28年度夏季休業中の学校業務停止期間の取り扱いについてでございます。

今、教育部長からありましたので、期間については8月13、14、15日の3日間。この期間に土曜日、日曜日が含まれる場合にも、新たな学校業務停止日は設けない。

運用方法について、以下、6点確認させていただきます。

(1) 対外的な業務ということで「学校業務停止期間」は、日直等を置かずに、学校として対外的な業務を行わない日とする。学校への問い合わせ等についても市教委で対応することとなります。

(2) 教職員の服務、教職員の服務については、この期間においても休暇取得を強制できるものではありませんが、狙いの趣旨からも可能な限り休暇の取得をお願いするものになっています。

(3) 教育活動の実施、この期間については、やむ得ない場合を除き、部活動等についても原則として行わないこととなります。部活動については大会等々の関係もありますので、原則として行わないということで確認しております。

(4) 保護者への周知方法ということで、教育委員会より保護者宛て通知を配布するものとする。今準備しております。

(5)緊急連絡、学校長と市教委の連携のもとに対応するものとするとなります。

(6)校舎管理、この期間については、原則市教委が管理するものとするということで、一般の市民の皆様に対しては8月1日付の「広報えびな」にて周知する予定で準備しております。

○伊藤教育長 ただいま説明がありましたけれども、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

期日についてはいろいろあって、校長会等と話して、私のほうは最初5日間を提案したのですけれども、さまざまな中で3日間ということでまず始めましょうと。ご承知のように横浜市がもう既に始めておりますので、この動きは多分これからかなり広がっていく可能性もあるかなと考えています。ただ、横浜は政令ですから、全然別個の行政単位になりますけれども、神奈川県内では海老名市が初めて、今年度からこのような形をとることになると思います。

○岡部委員 とてもよいと思います。たった3日間だなというふうに思ったのですけれども、手始めにということによくわかりました。

新聞等で先生が忙しい、残業が月100時間超えているとか、いろいろな記事を時々目にするのですけれども、国の調査あるいは県でもこうだとかという記事があるのですけれども、そういうデータというのは海老名も求められて提出しているのですよね。海老名の先生たちの忙しさの実態調査をしたことがあるのか、教えてもらえればと思います。

○就学支援課長 実態調査としては、今のところないですね。

○伊藤教育長 過去の調査というか、上に上げなければいけない部分の調査は大体聞いて出したりはするのですけれども、実を言うと、個別の調査になるのですけれども、今年度総合教育会議の資料として、1週間分の4校。小学校2校、中学校2校で初任の先生、新任の先生と10年経験者ということで、初任4人分、10年経験4人分の1週間の生活調査をやってもらっているのですよ。それを今年度の総合教育会議でお示ししようかなと思っています。それが先ほどの予定の中で、私、お願いに行っている予定があったのですけれども、教員の今の初任と10年ぐらいの方。子どもたちも、小学校3年生、小学校6年生、中学校1年生、中学校3年生、同じ学校数の分、4校分出していますので、それらは第1回総合教育会議に検討資料としてお出しすることはできると思います。統計的な意味で、全員の先生に調査したことは今のところはないということでございますので、その辺はそういう形でございます。

○岡部委員 わかりました。

○伊藤教育長 変な話、先生たちの忙しさの中で結構上位を占めるのが調査なのですよ。いや、本当に。国とかいろいろなところから、上から調査が来て、それに対応するのが大変だと言われていて、できるだけそれを絞るような形にしているのが実際そうなのですけれども、その中で1週間もお願いした私は何なのかと思いますけれども、そういうのがあります。

○松樹委員 今回、素晴らしいことで、私も今3日と聞いて、5日間ぐらいとか1週間ぐらいでもよいのではないかと思っているのですが、学校で教職員の先生がいらっしやらないという……。大概土日もお出されたりとか、本当に誰もいなくて閉まっているというのは、私は年末年始ぐらいしか記憶がないのですね。大概車がとまっていて、電気がついていて、土日もお仕事をされていたりというのを見えています。それが全てではないと思うのですけれども、ましてや3日とかとってよいですよという言い方も変なんですけど、とりなさいとも言えないと思うのですが、みんなで少しリフレッシュしませんかという中で投げかけをされたというのは私は大変素晴らしいことだと思うのです。今年はこの3日間、土、日、月という土日が入るのですけれども、やってみて、学校側がどうなのか、もう1日、2日ぐらいいけるのかなとか、では、5日間とか、いや、3日は無理だよねとか、大変だよねとか、これを検証していただいて、また来年に生かしていただきたいなと思っています。素晴らしいことだと思いますので、ぜひこのようにやっていただきたいなと思っています。

○海野委員 私も今回の決定はとても素晴らしいことと思うのですが、私なりに心配なことは、学校の業務が停止することによって、こちらの事務の方、教育総務課の方がとても忙しい。もしいろいろな対応が来た場合に、それに振り回されるのではないかということが1点と、少しお聞きしたのですけれども、臨任の先生は有給休暇が少ないらしいので、お盆中の3日間というのは一番費用がかさむ時期ではないですか。旅行するにしても。そのときにお休みをとるよりも、ほかの日にお休みをとりたいたいのではないかなという部分がありますから、もしこういう業務停止期間、お盆中でなくて、ほかの日であればもっと費用が安い時期にお休みがとれるかなというのがとても気になったところがございます。私の感想というのかしら……。

○伊藤教育長 1つ目は、学校に勤務して、平井委員も経験あると思うのですけれども、この期間、日直でいても、1日中電話も鳴らなくて、ずうっと暇をしていることもある…

…。もちろん職務があるので、保健調査票の整理をしたり、指導要録の補完をしたり、皆さんいろいろな書類整理はするのですが、ほとんど問い合わせはないです、この期間は。もちろん緊急のことがあって、例えば急に転出しなければいけなくなったから、その書類はどうしましょうとか、そういうのがある可能性はありますけれども、もうやってみなければわからないです。

2点目の臨任の職務上のことなのですからけれども、臨任は4月のときに給付、何日間でしたっけ、最初にまず……。

○就学支援課長 8日間でございます。

○伊藤教育長 最初8日間付与されるのですが、9月に切れたとき、1回ゼロになるそうです。だから、8日間使ってしまうなければいけないのですよ。そのことがシステムとしてありますので、大体の人は8日間使わないらしいのですよ。ですので、その8日間を消費しないと、結果的には9月になってまた、新たに切りかえになるというシステムらしいのです、それは繰り越しになったりするの……。

○就学支援課長 基本的には繰り越しには……。新規に任用された人は8日間ですが、継続の方は繰り越しになる場合もあります。

○伊藤教育長 でも、そこで1回消えるので、使っていただきたいということもありますので、その辺は余り心配していないかな。

ただ、個人の旅行費用が安いとかには対応できない、それと夏休み中を業務停止期間にしなければいけないので、それは少し難しいかな。そのときに一番学校として、保護者とか、先ほど問い合わせが少ない日とかなんかは、日直でいてもそういう状況なので、そこはもともと無理に努めてもらわなくてもいいかなという感はありました。

○海野委員 そういう心配はしなくても大丈夫ということですね。

○伊藤教育長 はい。

○海野委員 初めてなので、1年間試行していただいて、また来年度検討していただければと思います。

○平井委員 私、現場にいた者としては、ようやくこういうときが来たのかなという思いがします。土日も含めて3日間ということですが、海老名が先駆けてということですので、他市には大きな1つの刺激というか、目を見開く部分ではあるのかなと思うのです。

ただ、やはり一律にいかないところが難しいのかなとは思いますが。強制できるものではないときとか、部活を含めてやむ得ない場合を除きというようなところが出てくるので、

一律にはいかないと思うのですが、極力先生たちのお休みの期間としてとる方向で進めて
いっていただけたらいいのかなと思うのです。

あとは、そのあたりのところを今度保護者にも周知していくかと思うのですが、この学
校は出ているけれども、この学校は先生が休んでいるとか、そんなに細かくはないかと思
うけれども、そういう部分も含めて、保護者への周知を丁寧にしていただくことと、先ほ
ども広報でということをおっしゃってくださいましたので、それもすごく大きいかなと。
今まで学校は夏休みもあるのが当たり前、開かれているのが当たり前という中でいますの
で、海老名の皆さんには海老名市はこのような取り組みをしますよということもぜひぜひ
広報でお知らせをしていただいて、海老名の教育が少しずつ変わりつつある。こういう形
でというところをぜひ示していただきたいと思います。

○伊藤教育長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ほかにご意見もないようですので、報告第11号、平成28年度夏季休業中の
学校業務停止期間の取り扱いについてを承認することにご異議ございませんか。

○各委員 異議なし。

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第3、報告第11号を承認いたしま
す。

○伊藤教育長 続きまして、審議事項に入ります。

日程第4、議案第12号、学校運営協議会を設置する学校の指定について（東柏ヶ谷小学
校）及び日程第5、議案第13号、学校運営協議会委員の任命について（東柏ヶ谷小学校）
を議題といたします。この2件は関連がございますので、一括して審議を行います。

2件続けて説明をお願いいたします。

○教育部長 それでは、議案第12号、学校運営協議会を設置する学校の指定について（東
柏ヶ谷小学校）及び議案第13号、学校運営協議会委員の任命について（東柏ヶ谷小学校）
の2議案を一括でご説明申し上げます。

まず初めに、前回ご承認いただきました海老名市学校運営協議会規則を確認させていた
だきます。資料の12ページから15ページまでとなっております。海老名市学校運営協議会
規則でございますけれども、12ページの第3条におきまして「教育委員会は、……協議会
を設置する学校を指定することができる」と規定しております。また、13ページにござい

ます第5条でございます。「協議会の委員は、20人以内とし、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する」と規定されております。この2つの条文に基づきまして、議案第12号、議案第13号の議決を求めるものでございます。

それでは、資料の10ページに戻っていただきまして、議案第12号の説明からさせていただきます。

まず、提案理由といたしましては、東柏ケ谷小学校に規則で規定する学校運営協議会を設置するために議決を求めるものでございます。

資料の11ページに東柏ケ谷小学校校長から提出をされました学校運営協議会設置申請書を添付してございます。これに基づきましてご説明申し上げます。「海老名市立東柏ケ谷小学校は、学校運営協議会の設置を申請します」とございます。6月7日付で提出をされております。

1 学校の概要ですけれども、海老名市立東柏ケ谷小学校、校長名は多久島勲でございます。所在地は東柏ケ谷6丁目9番7号。

2 申請理由でございます。本校の特色である地域とのかかわりを生かし、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となった学校づくりを目指し、地域との融合を図りながら、健全な子どもたちを育成したい。

2つ目といたしまして、地域のさまざまな社会教育団体や機関等とのネットワーク化を図り、地域全体で学びを展開する。また、子どもと大人が響き合い、学び合う教育体制を構築したい。

3点目といたしまして、学校を核とした協働の取り組みを通して、えびなっ子しあわせプランを軸にした「おらが学校」づくりを試みたいということでございます。

続きまして、東柏ケ谷小学校の学校運営協議会委員の任命でございます。資料の19ページでございます。東柏ケ谷小学校の学校運営協議会委員を新たに任命したいため議決を求めるものでございます。

次の20ページに、学校長からの推薦書がございます。学校運営協議会委員推薦書でございます。1番から次ページ、裏面に行きまして21ページまで、1番から20番まで、20名の委員の推薦が上がっております。学校長、教職員、備考欄に選出母体がございますけれども、学識経験者、地域住民の方々、保護者、学識経験者で構成された20名の推薦が学校長から上がっております。この学校運営協議会委員の任命につきましても議決を求めたいものでございます。

説明は以上でございます。

○伊藤教育長 ただいま説明がありましたけれども、それでは、順番にでもよろしいでしょうか。議案第12号、指定について申請がありましたけれども、その指定についてまず、ご質問、ご意見をお伺いしたいと思います。

具体的には東柏ケ谷小学校から申請書を出されているのですけれども、それについてご意見があればお願いしたいと思います。担当がそこにいますので、東柏ケ谷小学校はどんな取り組みをするのだと聞いていただければすぐに答えますので。

○松樹委員 東柏ケ谷小学校でいよいよ始まったなという感じがして本当に率直にうれしく思っておりまして、中身に関してはもうこのとおりにやっていただきたいと思うのですが、先に質問します。

指定しましたというのが出るのと、議案をまたいで申しわけないのですが、委嘱をしたときに個々の委員に委嘱状が行くのか、お聞きしたいんですが。

○伊藤教育長 I S Oのではないけれども、指定があるのか。それから、委員には任命書が行くのかということで担当から回答あればお願いします。

○学び支援係副主幹 設置についての決定通知書というのがありますので、それを学校に送付する形になります。任命については任命書を個人宛てにお渡しするような形です。

○伊藤教育長 でも、松樹委員が言った、小林学び支援課長はI S Oとかやっていたから、学校にこういうのがあるといいよね……。

○学び支援課長 少し今思ったのですけれども、そういう形のものがあつたらよいですね。

○松樹委員 そういうものがあつたほうがよいかなど。指定をされて、コミュニティスクールをやっていますという中で、物で気が引き締まると言ったら大変語弊がありますけれども、ペーパーを1枚もらう、厚いの、薄いのって結構気持ちが変わってくる場所があったり、もちろん委員に個別にということもあると思うのですが、あとは周知をするという意味でも、学校からこれについて指定を受けましたというのが何かあつたほうがいいのではないかなと私も思います。あと委員は職務に責任を持ってやっていただくような方たち。この中の方たちが責任を持っていないと言っているわけではなくて、お手紙で書くというのもよいのですが、例えばお手すきであれば教育委員の方が会議のときに行って、1人1人名前を呼んでお渡ししてあげるとか、そういう作業をやっていただくと、それではと、また新たにコミュニティスクールをみんなで立ち上げて、東柏を盛り立てて、中心、主体

性を持ってやっていくのだぞという気持ちも入るのかな。御検討いただければと思っていますのでお願いします。

○**学び支援課長** 貴重なご意見ありがとうございます。指定についての設置は、おっしゃっていただきましたように紙1枚では簡単過ぎるかと思しますので、今後検討させていただきたいと思います。任命書につきましては団体と調整するところではございますけれども、教育長から渡していただくとか、そのあたりはもう少し調整させていただきたいと思っています。

○**松樹委員** 要は委員さんたちも自分たちが、今までの流れの中では大きな東柏学校応援団連絡運営委員会というのがあって、その中心メンバーがずれてくるような前の流れでやろうぜという形ではなくて、また新たにいろいろな職務が発生していますので、法律的にも出てきますので、今まで以上に主体性を持って委員さんたちもやっていただける方だと私も思いますので、そういう意味でも、こちらもしっかりと任命してお願いしますという形の中でやったほうがよいのではないかという意見でございますので、よろしくをお願いします。

○**伊藤教育長** 今、担当からの回答のとおり、検討するということですので。

○**松樹委員** よろしくをお願いします。

○**岡部委員** コミュニティスクール、学校運営協議会を設置して運営していくということはどこの学校も目指している、今までも目指していただろうと思うのです。こういう形でスタートするのが東柏が第1号ということなのですけれども、将来的にはほかの学校もこの流れに乗っていくのかどうか、その辺は様子を見てからということになるのでしょうか。

○**伊藤教育長** 今えびなっ子しあわせプランの中で示しているのは、今年度と次年度は手を挙げた学校にまずやらしてもらいましょうということです。実は手を挙げようかどうかと悩んでいる校長先生方の相談も私どもで受けているので、次年度になるとまた少し広がるのかなと思っています。その次の年度からは、実を言うと今、小学校のほうは学校応援団という組織をつくって、下地づくりをかなりやっていますので、その移行はそんなにでも……。中学校のほうは今年度、来年度、学校等の研修とか共通理解をもう少しです。でも、平成30年度には今の計画では19校全校でコミュニティスクール化したいなということで計画として進めているところでございます。

では、委員の任命の議案第13号も含めてでも結構ですので、何かありましたらお願いし

ます。

○海野委員 東柏ヶ谷小学校は以前から地域コーディネーターの方の活躍がとてすごくて、ほかの学校にない学校への協力が得られていた学校だと思うのです。ですから、コミュニティスクールが発足してとてもよかった、最初に発足されることでほかの学校にも影響を及ぼして、これから進めていきたいなと要望します。

1つ、これからの要望なのですけれども、委員会のメンバーが20人ということではいろいろな方がいらっしゃいますよね。そうすると、会議の時間帯というのですか、会議に要する時間とか、時間帯とか、それぞれの委員に負担にならないように、これからの活動を続けていく上ですごく重要なことだと思うのです。負担になってしまうと長く続いていけないので、そこのところはすごく考慮していただきたいと思います。

もう1つは、委員会の内容をほかの小学校の先生方にも情報を知れ渡らせてもらいたいのと、地域の方々、住民の方々にも、こういう委員会が発足して、こういうことが学校で行われていますよという情報が伝わっていったらよいと思うので、学校内の先生方にも情報を知らせていただきたいのと、地域の方にも情報をなるべく、委員会の内容を伝えていただきたいなと思って、一緒に進んでいっていただければなと思いますので、よろしくをお願いします。これは私の要望です。

○伊藤教育長 会議は公開ですること、例えば議事録を公開するとかその点については東柏ヶ谷とも今後については担当のほうでどんな形で会議を公開とか、結果の公表とか、どのような形で今考えていますか。

○学び支援課長 まさにこれから始まるころなのですけれども、今、準備委員会ということで進めていただいています。今後の会議につきましてはもちろん教育委員会でも出席させていただきますので、そこで助言が必要であれば申し上げたいと思いますし、公開の仕方につきましては、そのあたりも含めて、校長先生も含めていろいろ議論をしてまいりたいと思います。確かに大事な第一歩ですので、それをほかの先生方とか、地区の方に出していくのも大事なことだと思いますので、お話し合いの中でそういうことも提案させていただきたい。また、先ほどご要望いただきました会議の開催時間の関係につきましても、校長先生にはお伝えをしていきたいと思います。

○伊藤教育長 ということでよろしいですか。要望ということですので、今年1年、この後……。

○海野委員 1年していただいて。

○伊藤教育長 これは試行ではないのですけれども、パイロット校がやる中で問題点も出てきますので、それはまた、他の学校にも還元したいというか、進めてまいりたいと思いますので。

○海野委員 地域を巻き込んで、こういう活動が盛んになっていけば、なおさらよろしいかなと。

○伊藤教育長 公表とかなんかということに関しては、今回の該当の校長にも少し話しているのは毎月学校だよりって出すのですよ、学校って。だから、何月何日に東柏ケ谷小学校第何回学校運営協議会を開催しますよという開催通知を地域にも東柏ケ谷は配っているみたいなので、公表して、次の号で終わった後のやつは第何回学校運営協議会についてはこのようなことが話し合われて、このように決定しましたので、地域の方のご協力をいただきますというのは、表面ではなくて、裏面につけてもよいから、また周知するような方法も検討していく。あとはホームページを各学校で持っていますので、それを活用することもできるかなと思ったりもしています。でも、まだ始まっていませんので、それは少し試してにやってみたいと思います。

○海野委員 よろしく願いいたします。

○平井委員 海老名でもコミュニティスクールの第一歩が踏み出せるのかなというふうに、学校関係は大変かなと思うのですが、ほかの学校の1つの先駆けとなって、いいものをつくり上げていっていただけるのではないかなと思っています。申請理由の中に、とてもよいことがたくさん載っているのですね。ですから、このあたりのところが今後、これを推進してというか、進めていく中では大事なのかなと思っています。特に地域との融合、社会教育団体や機関等とのネットワーク化。このあたりは東柏は図られているかと思えますので、もっともっと深く浸透していったらいいのかなと思いますし、子どもと大人が響き合い、学び合う教育体制を構築、このあたりのところは今後、やはりネットワークを通じて子どもと大人がともに学び合う教育体制をつくっていくということが求められてくるのではないのかなと思います。

そういう中で、独特の東柏の「おらが学校」というものになってくると思いますので、やはりこの申請理由3点を常に念頭に置きながら進めていく必要があるのではないかな。それは1つずつかもしれないけれども、ここに入れ込んだものがきちんと達成されていくような方法で、ただつくったというだけではなくて、やはりきちんとしたものを狙いを持って進めていくような方向で教育委員会としては折々に助言を与えていただ

けたらよいかと思います。

○岡部委員 よいことが次々とできてくると、結局学校の忙しいのがまた増えるのではないか。先ほどの話と逆行する部分もあるのかなと思うので、地域の皆さんの応援もできるだけ学校に負担がかからないように進めて欲しいと思います。お願いするものはお願いして、多少不十分でも、学校の先生から見るとそれはというのものもあるかもしれないのですが、全部完璧にする必要もないかなと思うので、やっているうちにいろいろ知恵も出てくるでしょう負担が重くならないような仕組みを考えていってほしいなと思います。

○伊藤教育長 わかりました。学校運営協議会って、例えば学校の管理職とか地域担当の先生は、今までにない分、仕事は忙しくなるのですけれども、やっている先進校の話を聞くと、簡単に言うと保護者からの苦情は確実に減るらしいのですよ。今までのさまざま違ったこと、振り回されていたことはなくなっていくと。それから、例えば今までは学校は全てを賄う、要するに学校って何をやるかという疑問は、家庭がやらないことを全てやる。だから、しつけから全てをやらざるを得ない。でも、今度は、教職員は教科指導、勉強に集中してください、それ以外のことは私たちがやりますからということで、例えば環境整備とか、または授業で人が足りない部分はお手伝いに行きますよって。だから、今岡部委員がおっしゃられたことで、やはり運営する中で担当の人たちは忙しくなるけれども、学校全体としては、これからはこれを進めないと、今の呪縛から逃れられない。ずっと忙しいまま、仕事をこなすだけ。だから、それを打開する1つの方法、要するに教職員の負担軽減につながるものであるというものに、今の岡部委員の意見がありますので、そういうものにつなげていかないと、逆に忙しくなって、これでは大変だとなるのでは問題なので、やってみて、担当の人とかなんかは忙しいかもしれないし、職務はふえたけれども、全体としては先生たちが授業に集中できるようになったよねとか、子どもたちとかかわる時間を持てるようになったよねとか、そのような方向性を目指したいなと私は思っているところなのです。

○岡部委員 ぜひお願いしたいと思います。

○平井委員 1点、今、多忙化が出たのですが、事務局というのはどのような形で置かれていくのですか。そういうものを改めてお知らせしたりとか、ある程度の日程を組んだりとか、いろいろなことをしていかなければいけないと思うのですが、学校と常にやりとりはあるのですが、そのあたりを学校に委ねてしまうと学校の多忙化が出てくると思うのです。そういうもろもろの計画立案というか、そのあたりは話し合いを校長先生とされてい

くのでしょうけれども、事務的なものは学校に全て委ねられていくのか。

○伊藤教育長 それはやってみてということなのだけれども、私、最初の段階は学校でやらざるを得ないかなと思っているのですよ。初めから地域の方々にそれをやってもらうわけにはいかないで、例えば学校の教務担当や教頭先生とかなんかがお手紙をつくって送ったりする。だから、それが先ほど私が言った事務担当の初めての仕事の負担感になる。でも、一般の教職員の方々には、それは及ばないような形に学校は多分やると思うのですけれども、いつかそういう中で事務局のいろいろな仕事の割り振りを、ここにもつけて、ここにもある程度……。学校に支払うのですけれども、今だと文部科学省とか県からの補助金が出ますので、それらの予算がありますので、それらも含めて事務局自体、運営協議会の地域の方が運営できるような形にするのが先ほどの岡部委員や平井委員の言われたこと。

ただ、初めの段階だけは学校が汗をかかなければいけない、必要かなと思っています。でも、その後は、それがずっと継続することは少し厳しいので、事務局の方々の中から自分たちがそれを運営するような……。ただ、日程調整等は校長とか学校と話し合っ、今度東柏ヶ谷小学校はいつ都合がよいですかという形になるとありがたいかなと思っていますので、そのような方向を持って進めたいと思います。

○平井委員 いろいろな地域の方たち、団体の方たちがいらっしゃるので、みんなとつくり上げていく形でしたら、それぞれの多少の分業もよいのかなと思いますので、今、教育長からお話をいただいたので、そのあたりのところは今後構築されていくと思いますけれども、承知しました。

○伊藤教育長 ほかにはよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご質問もないようですので、1議案ごとに採決いたします。

議案第12号について、指定のことをございますが、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

○各委員 異議なし。

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第4、議案第12号については原案のとおり可決いたしました。

次に、日程第5、議案第13号、委員の委嘱でございます。原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

○各委員 異議なし。

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第5、議案第13号を原案のとおり可決いたしました。

○伊藤教育長 以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会6月定例会を閉会といたします。